

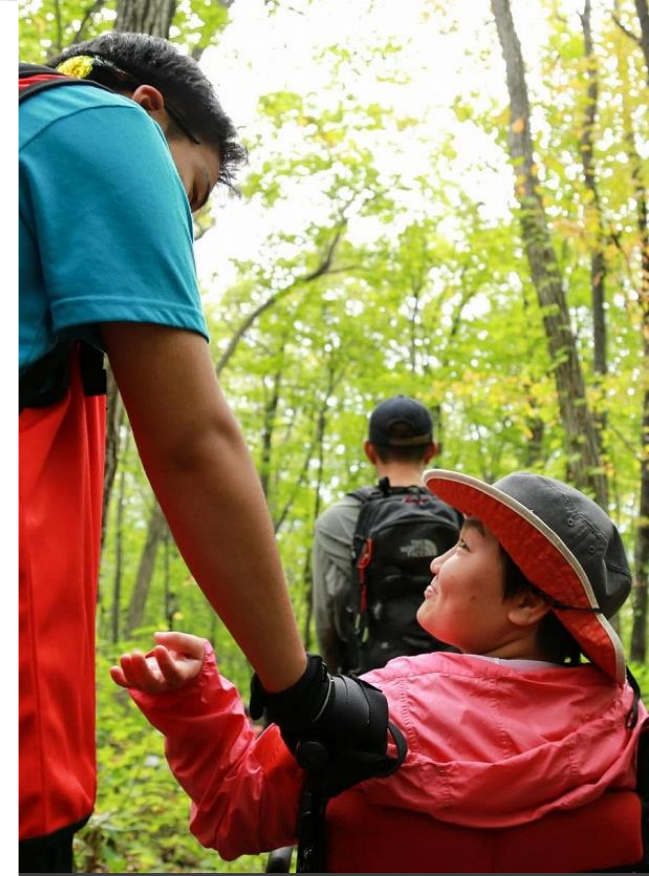
「積雪寒冷の旭川で障がい児者と取り組む パラスポーツ観光と旅リハねっと」

～ 北海道旭川取り組みから ～

- 「長野1998パラリンピック」のレガシーを抱え、今から16年前、「トリノ2006冬季パラリンピック」に向けた取り組みからつい最近の「北京2022冬季パラリンピック」までを振り返りご紹介します。
- 16年前、生まれつき車いすに乗って暮らしている五十嵐真幸はその時19歳、地元の高校を卒業したばかりのフレッシュな社会人1年生でした。

NPO法人カムイ大雪バリアフリー研究所 北海道旭川市

会長理事 只石幸夫 & 理事施設長 五十嵐真幸



次世代につなぐ持続可能な
「スポーツ交流で誰にもやさしい旭川づくり」

長野から四半世紀、トリノから16年経過した今は、

- 東京2020パラリンピックで活躍したパラトライアスリート円尾敦子(視覚障がい)や車いすラグビー池崎大輔たちの報告会兼ねて交流会開催



北京2022パラ直前合宿

パラリンピック直前合宿などでちびっ子アスリートとの交流が盛んです。

車いす生活者 五十嵐 真幸 (Age35) の紹介

■五十嵐 真幸 IGARASHI MASAYUKI

■病名 骨形成不全症 先天性の障がい(生まれつき)

■2005年高校卒業まで

小学校～高校まで9年間普通学校、毎日の学校送迎は家族のサポート
早く自立(仕事)して、親の負担を減らしたい(自由になりたい)

■就職を希望

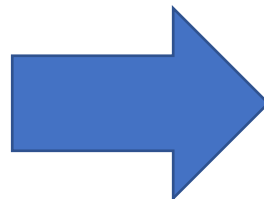
履歴書が送り返される。車いすという理由で断られる
(階段がある。車いすが利用できるトイレがない。事務所が狭いという理由)

■パラスポーツ活動を推進するNPO法人設立運営に参加し、
誰にもやさしい地域づくり活動を内外でリードしている。

車いすや障がい者のイメージって？



2006.04 「旭川障がい者スポーツ振興支援会」
が主催した「トリノ2006パラリンピック写真展」
で展示会場担当スタッフとして活動開始



障害のある人と市民との交流



06.06.25 旭川市買物公園
AWC・旭川ウインタークラシック
で「訪れる仲間をもてなしたい」と
街中の商店街で協力依頼を兼ね



国際大会を招致開催して
国内外からたくさんの
パラアスリートが集まる
誰にもやさしいまちづくり
が始まりました。
アメリカ、ノルウェー、カ
ナダ、日本の4強が集いま
した。

経済産業省 「雪の中でもてなし隊」から



雪の中でもてなし隊
大  雪

現在の位置: ホーム

[お知らせ](#) [事業概要](#) [イベント案内](#) [私たちのこと](#) [お問い合わせ](#)

雪の中でもてなし隊・大雪(だいせつ)

雪の中でもてなし隊・大雪(だいせつ)は平成18年度 [経済産業省のサービス産業創出支援事業](#)の委託(内定)を受けて、障害当事者自らがプロデュースする「ユニバーサルな体験交流型旅行商品」の提案・提供について調査研究を進めています。

お知らせの記事



障がい当事者がリードする優しいまちづくり

ぐれんたい 車いす紅蓮隊



北海道旭川を拠点に活動する車いす紅蓮隊（ぐれんたい）は、障がい当事者メンバーの企画運営で「誰にもやさしいまち旭川」をめざし、フルシーズン誰もが参加しやすい交流イベントづくりを進め、障がいの有無や年代、性別国籍に関係ない地域共生の環境づくりを進めています。

KURUMAISU GURENTAI SINCE 2006

2006年 「愚連隊」のように車いすですぐ自由に振る舞ってこい!!!

熱い気持ちで優しいまちづくり「車いす紅蓮隊」結成

「あさひかわ雪あかり」・「障がい者スポーツ支援会」への参画
一緒に楽しめる「アクティビティー開発」を地域事業者、学校や地域団体と進める

障がい者が街へ出向かない。

接し方がわからない。対応方法を知らない事で、避けがちになっていた地域事業者に **車いす当事者の事を知ってもらう**

「タウンウォッチング」開始

商店街や学生と一緒に車いすに乗って街中にあるバリアを体験

障害の有無に関わらず利用できる、「モノ」づくり

世界に1つの「誰にも楽しめるUDみこし」2009年初出陣

誰もが楽しめる障がい者スポーツの体験イベントの開発

旭山動物園などの観光施設、ホテル、公共交通、一般企業等にバリアフリー講習やアドバイスをを行い、利用しやすい環境づくりを進める。

旭川近郊1市8町のバリア・バリアフリー情報、当事者が参画したイベント情報を全国へ発信

2018年

地域で「一緒に考えてもらう」と、障がい者・車いす当事者への理解がより深まり、「観光」「パラスポーツ」「イベント」の企画や運営に多くの障がい当事者が一緒にしています



誰にも担げるUDみこし (2009~)



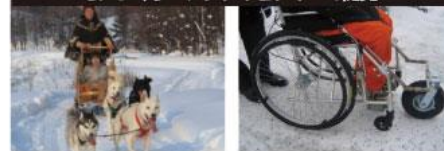
あさひかわ雪あかり 2010 点灯式



タウンウォッチング



モノづくり・アクティビティーの開発



勉強会・バリアフリーアドバイス



誰もが楽しめるイベント企画・運営



車いすや障がい者のイメージって？



2020 東京パラリンピック
車いすマラソンで代表を目指す

障害のある人と市民との交流



06.06.25 旭川市買物公園
AWC・旭川ウィンタークラシック
で「訪れる仲間をもてなしたい」と
街中の商店街で協力依頼を兼ね



旭川って
すごい街

パラスポーツ普及・体験会・勉強会

車いすバスケ・テニス・ラグビー・野球 など パラスポーツの体験会

日本障害者スポーツ協会公認 障がい者スポーツ指導員の養成講習会の開催

パラスポーツセミナー(I'm POSSIBLE)



ウィルチェアーラグビー合宿

2014~2018

北海道ビッグディッパーズ&埼玉AXE 合同合宿から、始まり → 日本代表合宿へ



地域との協働連携に至ったきっかけ

- スポーツや誰にもやさしいイベント開催・継続を通して、障がい児者・高齢者、たくさんの人たちの外出の機会づくり
- 障がいの有無、年齢に関係なく、お互い助け合う風土づくり



- イベントに積極的に参加や体験できる環境づくり（新しい体験や発見の場づくり）
- イベントを運営、サポートする人達やボランティア、参加する人との交流
- 当事者がリーダーとなり、イベント企画や運営、ルール指導など活躍の場が広がる

旭川市民体育の日：障がいがある人でも参加できるイベントが少ない

旭川市や地域の他団体との役割分担

● スポーツ交流で誰にもやさしい旭川を考える会
(他団体とも連携)

● イベント企画・運営

● 安心安全なイベント・体制づくり

● スタッフ・協力者募集

● 一緒に取り組むメリット

● 旭川市や地域と協働で開催することで、参加者や協力者への安心感協創

● 旭川市及び近隣町

● イベント企画・運営 の相談

● 開催場所の手配や検討

● 告知・広報

地域と協働でイベントの企画開催 平成29～

トレッキング自然体験会 / 旭川北彩都ウォーキング / 旭川レク・ボッチャ選手権大会 / バリアフルキャンプ
冬のサバイバル /



たくさんの笑顔



R1 協働事業運営の継続に向けて

- 継続化の為の財源は確保できるのか。

 - これまでの経験を活かし全道大会開催で協賛スポンサー集めの実施

- 事業の拡大により、スタッフ不足になるのではないだろうか。

 - 参加者がスタッフへ。参加者と協力して一緒に実施するイベントづくり

- 情報発信不足

 - 「地域のこうほう誌」での発信、公民館や住民センターなどで発信

旭川市や地域近隣町との連携・協働で、イベント継続・発展へ

パラスポーツで広がる → 誰にもやさしいまちづくり



<p>車いすバスケットボール 旭川リバーズ</p> <p>活動日: 毎週火・金 18:00~21:00 場 所: おびつた 代表者: 柏川 貴彦</p>		<p>ラジコン Minizレーサー RC222</p> <p>活動日: 年4回程度 (不定期) 場 所: 主におびつた 代表者: 村田 仁記</p>	
<p>ウィルチェアラグビー 神威 (かむい)</p> <p>活動日: 毎週水 18:00~21:00 場 所: おびつた 代表者: 矢島 勇作</p>		<p>ユニファイド ランニング・クロスカントリースキー 999 AC 旭川</p> <p>活動日: 毎週日 9:30~12:00 場 所: 夏 忠和公園 / 冬 富沢XCコース 代表者: 今野 征大</p>	
<p>車いすテニス ACT (あくと)</p> <p>活動日: 毎週木 18:00~21:00 場 所: おびつた 代表者: 山崎 理恵</p>		<p>レクリエーションポッチャ RBC000</p> <p>活動日: 第1.3土 13:30~16:00 場 所: おびつた 代表者: 田口 忠臣</p>	
<p>車いすカーリング 旭川キュー斗</p> <p>活動日: 冬期 11月~3月 (土日) 場 所: 妹背牛カーリングホール 代表者: 高橋 正樹</p>		<p>車いすピアニスト 山崎 理恵</p> <p>旭川出身プロピアニスト。 プロフィール詳細はHPを ご覧ください! → → → →</p>	
<p>アダプテッドバスケットボール バスケ555</p> <p>活動日: 月1回程度 場 所: おびつた 代表者: 小笠原 志朗</p>		<p>誰にもやさしいイベント <small>一緒に楽しもう♪</small></p> <p>スポーツ交流で誰にもやさしい旭川考える会では、旭川市、旭川パラスポーツ協議会と連携し、誰もが楽しめるイベントづくりを行っています! ぜひ一緒に参加や運営しませんか?</p>	
<p>スペシャルオリンピックス北海道 (旭川プログラム)</p> <p>スペシャルオリンピックス (SO) とは、知的発達障害のある人の自立や社会参加を目的として、日常的なスポーツプログラムや、成果の発表の場としての競技会を提供する国際的なスポーツ組織です。現在は陸上・クロスカントリースキー (999 AC) バスケットボール (バスケ555) 水泳のほか、ウィンタースポーツなど様々な競技を実施しています。</p>		<p>●バリアフルキャンプ ●トレッキング ●ウォーキング</p>	

ハーフマラソン
おともだちがママさんと
ハイハイマラソンに出た
車イスで3km走った
ピョンピョンいそいでい
かせがまもちい
おともだちやお母さんと
いっしょに走る
たのしいな
ゴールが見えてきた
めいやくちやはおめでとう
いじくちやはおめでとう
「カンパレ!カンパレ!」
さいさいでかいワッぱいこいだ
つやたい!ゴールだ
つかれたけれどがんばった
ゴールできた
うれしな

ニッポンマンが最初に目撃されたのは2008年、旭川の大雪アリーナ。大雪アリーナではまさに、パラアイスホッケーの世界交流大会が開かれていました。会場のみんなを先導するように日本を応援する姿が目撃されています。

その日から、バンクーバーでも応援していたり、日本で開かれるパラ関係のワールドカップなどでは、大会に出場する全ての選手をその国の言語で応援するなど、応援方法を工夫しながら応援していました。ニッポンマンは、心の底から応援をして会場の皆さんの力をお借りし、選手に力を送ることができるように頑張る! と言っていました。パラリンピックサポートセンターのインスタグラムで、応援といえばこの方! と紹介もされていました。ニッポンマンはみんなの応援団! いよいよ2020は東京オリパラ! 皆さんニッポンマンと一緒にパラスポーツを応援しましょう!!

- 旭川パラスポーツ協議会** パラスポーツや文化活動などをサポートする「5つの団体」で発足された協議会
- 旭川医科大学スポーツ医科学研究委員会
 - 道北地区障がい者スポーツ指導者協議会
 - 旭川障害者スポーツ協会
 - 旭川障がい者文化スポーツ振興支援会
 - カムイ大雪パラフリーツアーセンター
 - スペシャルオリンピックス日本北海道旭川プログラム

御輿のリード役を次世代への伝承



パラスポーツが地域に広がる → 地域の誰にもやさしいまちづくりにつながる

継続することで、
新たな需要や人材育成が繰り返される

特に障がい児を対象とする「次世代の育成」
小学校入学前の未就学児から興味を抱いて
一緒に始める仕組みを地域一体の協働連携
で協創する。

それぞれが自立、成長しながら、
地域内外で協働連携して継続する



2019.9.18 北海道新聞

指導者や審判は、
健常者だけではない。

が認定されたが、知的障害者は珍しいという。小沢さんは「知的障害があっても審判として関わることができてうれしい」と話す。審判認定について同クラブ競技部の田口選手は「知的障害者も公式大会で参加できることになる。一つのきっかけにはなると期待する」と話した。同クラブは現在、審判員4人も認定中。同クラブは現在、審判員4人も認定中。同クラブは現在、審判員4人も認定中。同クラブは現在、審判員4人も認定中。

地域の障がい当事者たちと
旭川市や近隣の町
パラスポーツチームや選手
地域の企業、団体の方たち
ボランティアや子どもたち
旭川パラスポーツ協議会

旭川医科大学スポーツ医科学研究委員会

旭川障害者スポーツ協会

旭川障がい者文化スポーツ振興支援会

道北地区障がい者スポーツ指導者協議会

カムイ大雪バリアフリーツアーセンター

スペシャルオリンピックス日本北海道旭川プログラム

やさしいまちづくりに
挑戦できる環境づくり

たくさんの方たちと協働連携して

